

長き鐵道生活の回類

昔の工事は速いものだった

工學博士 野村 龍太郎

私は東京大學の法理文の理科を明治十四年に出た、直に東京府廳に入つて玉川上水道や道路なごの設計に従事してをつたが、明治十九年から鐵道廳に行く事になつた。

其頃迄に鐵道の方は東京と京都とを連絡するのに中山道に鐵道を通ずる豫定であつたが之は容易な工事でないから東海道線を先にするご云ふ事に決定して、明治十九年から測量に着手し、横濱沼津間は原口要氏が主任で其下に大屋權平氏と私が工事を擔當する事になつた。而して横濱と藤澤間は大屋、藤澤と國府津間は私が云ふ事になつて、急速工事であるから御互に非常な競争であつた。

× × ×

大屋の方は程ヶ谷のトンネルが難工事で、私の方は馬入川の橋梁が難工事であつたが、御互に晝夜も服をぬがずに工事を督勵する有様であつた。請負者も指名であつたから誠實にやる、従つて工事は良く進行した。馬入川橋梁と程ヶ谷トンネルとが兩工區の競争工事であるから、大屋の方からはトンネルが開通して橋桁を送る準備が出来てをるのに、橋脚がまだ出来ないかと突込んで来る。私の方からは橋脚はもう出来るのにトンネルはまだかご云ふ始末で、御互がセリ合つたものだ原口さんなご夜中の二時頃でも不意に廻つて来るので工事は非常に緊張してゐた。兎に角二十ヶ月間で横濱、國府津間の三十一哩は開通する事が出来た。

× × ×

それから箱根の工事なごは同時に八ヶ所のトンネルに着手するのであるから、坑夫が足りないで、佐渡や足尾の鑛山から寄せ集め

たものであるから、毎日喧嘩をするものがあつて所謂血の雨をふらす騒ぎであつた。

トンネル掘鑿も全部手掘で、換氣法なごも農家で使ふトウミで箱樋を通じて空氣を送つたものだ。

そんな事で先づ京都迄の全通に二ヶ年掛つたが、まるで戦争の様な状態であつた。當時の鐵道長官は井上勝さんで他の人々も今日では多く故人となつた。

× × ×

其後に今の中央線の一部たる甲武鐵道の工事を會社から政府に委託されたので、私は新宿八王子間を擔當する事になつた。其所には別段變つた話もないが。

× × ×

次に東北線の工事に當つて板谷峠のトンネルを十八ヶ所着手したのは場所が斷崖絶壁であるご、冬期は丈餘の積雪であつたから測量なご最も困難を感じた。

× × ×

明治二十四年の濃尾の大地震は大正十二年の地震よりも大なるもので、鐵道の如きも豊橋から關ヶ原迄は線路を悉く破壊された。

私は之を一通り視察して復舊の設計案を立てたのであるが、長良川橋梁は被害最もひどく、井筒基礎の上に立つてゐた鐵柱の橋脚が悉く根から切斷されてをつた、それ以來鐵柱は皆止めにして、新規に楕圓形の井筒を下ける事にしたが晝夜兼行の工事で全一ヶ年で完成した。

× × ×

日露戦争中の明治三十七年には時の遞相たる大浦さんに従つて滿洲に行つて、安東を起

點として奉天迄、海城迄、大石橋迄の三線の比較踏査をしたが、中々困難な事で、私も砲聲を聞き乍ら支那の民家に泊つて、炊事なごも支那流の洗面器一枚で皆用をたした。冬期であつたから薪なごにも大に困難したが兎に角に踏査の結果は安東と奉天間の線を決定する事となつたのだ。

× × ×

原口要さんは中々元氣な人で、明治初年か

ら外國人の技師のみで出来てをつた日本の鐵道工事を、原口さんが洋行から戻るご、決心して、外人に頼る必要はない、何でも日本人の手でやれご云ふので明治二十二年頃迄でに外人技師を全部やめてしまつた。其頃迄は高級な技術は

全部外人の手を煩したもので、設計圖なごも全部英文であつた。橋桁なごも總て外國製でセメント迄も外國品を使つてゐた。

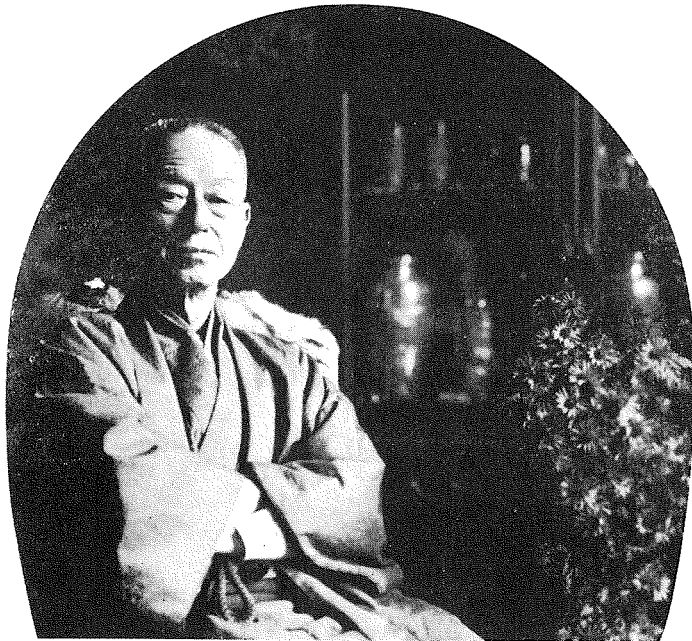
實地の工事は現場に働く建築工夫ご云ふものが既に外人技師から工事の段取りを充分に見憶えてゐたから我々の様な學校出たてのものが現場に居ても不自由はなかつた。

× × ×

趣味ごして私は三十年來觀世流の謠曲をやつてをるが之も段々ご深入りして來るご自分の技巧に不足を感じて近頃では臆病になつて來た様に思ふ。

×

工事に従事するのも昔は随分亂暴な事をしたもので馬入川の工事に従事した時なご砂利運搬を急いだものだから機關車を三臺も連結して走らし衝突したり川の中へ顛覆したりした事もある原口さんが八釜しいものだから、



Dr. R. Nomura.
President of The Tokyo Sub-way Company.
東京地下鐵道株式會社社長 工學博士 野村龍太郎氏

破損のヶ所は夜中に修繕して翌朝迄にペンキ塗り迄やつた様な事もある。

菊の香りの前に

我が國鐵道技術界の元勳の一人たる野村博士は社會に在つては前滿鐵總裁、鐵道協會や、土木學會の會長を一通りすまして、今では東京地下鐵道會社

長として忙しい其日を送られつゝあるが家庭にあつては菊の香に包まれて趣味の生活を送つてゐられる。之は其の昨秋の或る日曜日に於ける一情景である。